

緊急提言

2020年4月6日

1. 感染者を検出するPCRを毎日1万人以上に急速に増やす
(これまで合計45,000人 4月5日)
無症状、軽症、重症の振り分け (東京都実施)
2. 東京圏、大阪圏、名古屋圏の1ヶ月の完全外出自粛により
満員電車での通勤をやめる
その結果、医療崩壊を防止
全国への蔓延を待つべきではない
経済保障はそのあとで考えるべき
3. 治療法として外国で有効性が示されているものを
実地導入する 野戦病院での戦いであることを自覚
 - a) 急性期 抗ウィルス剤 (アビガン等)
 - b) 重症肺炎時の炎症反応の暴走時にはトシリズマブ等

コロナパンデミック制圧は困難な戦争だ

- 国内外が戦場
- 戦争勝利の必須策
敵がどこにどれだけいるかを知ること
→ PCR検査の急増
(人口100万にあたり数百人から1万人へ)
- 戦争は長期戦だが 持久戦では勝てない
先手必勝

今の戦いの分岐点

医療崩壊を防げるかどうか

これが起こると人命と共に
社会経済に不可逆的損害の恐れ

**医療崩壊が起こると
医療従事者が命の危険に晒される
これを避けることが
新型コロナウイルス感染を
短期終息させ経済を早期に回復させる**

新型コロナウイルス（Covid-19）との 戦いについての現状

1. 敵は眼に見えない忍者のようなもの
2. 戦いの中心地は日本の主要都市
（東京、大阪、名古屋圏）
3. 敵をこの中に包囲して動きを封じることで
勝利可能

戦いの性質は特殊だ忍者は病気を撒き散らす

忍者は弱毒を撒く → 無症状・発熱・肺炎など
人によって様々な症状で 1~2%死亡

対策は2つ

1. 忍者を見つけることはできないが
毒をもらった人を発見して
毒が他人に移らないようにすること
2. 適切な治療で死亡を防ぐこと

他人に毒が移らないようにするために

- 1) 誰が毒をもらったのか知る → 敵を知る
PCR検査数を一気に10倍以上増加させる
- 2) 週末に限らず平日も1月程度外出しない
満員電車が一番危険

適切な治療をするために

1) 入院ベッドの管理

軽症者の隔離と重症者の治療

2) 新しい治療法の開発と外国で成功したものを直ちに実地応用

経済への影響を最小にするために

厳しい規則で早期終息が最良策

**A (- 30% 経済で) × 3月以上 → コロナ蔓延
死者多数**

B (- 90% 経済で) × 1月 → コロナ制圧の方向性

どちらを選ぶか

これまでの他国の例からの教訓

科学的事実を直視 (重視) せず
直近の経済的損失を恐れて対策を後に延ばした
指導者はすべて失敗した

失敗例： イタリア、イギリス、米国

成功例： 台湾

将来への教訓

科学の価値は

経済利益を生み出すことだけではない

命・社会・国家を守る基本
